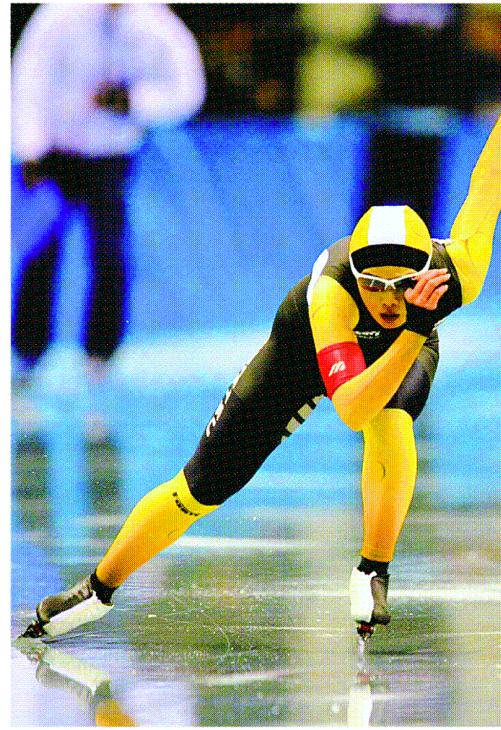


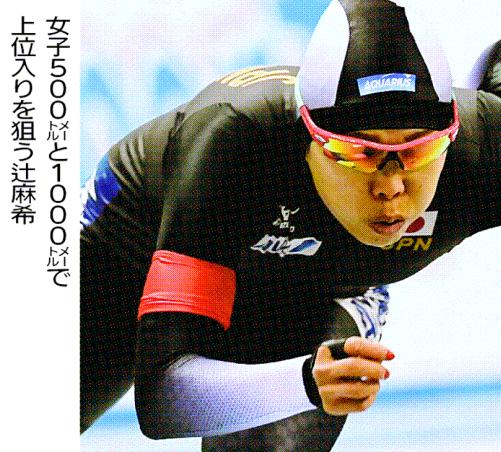
今季絶好調の高木美帆は、W杯と世界距離別選手権などで好結果を残し、  
郷里での金メダル獲得に向かう(写真は1月のインカレで)



# 郷士で挑む



女子500mと1000mでメダルを目指す郷里砂



女子500mと1000mで上位入りを狙う辻麻希



高木菜那(右)、美帆(左)姉妹は個人種目と団体での活躍が期待される(写真は昨年11月のW杯長野大会団体追い抜きで銀メダルの日本女子チーム)



3種目でメダルを狙う押切美沙紀



男子短距離陣で上位入りが期待される長谷川翼(右)と村上右磨(昨年12月の全日本スプリント選手権で)

## スピードスケートの十勝勢

- ◇コーチ  
糸川敏彦(日本スケート連盟、専修大・白樺学園高出)
- ◇選手  
・長谷川翼(日本電産サンキョー一日大・白樺学園高出)=500m
- ・村上右磨(ゆうま、村上電気、帯工高出)=500m
- ・高木美帆(日体大・一帯南商高出)=1000m、1500m、3000m、マススタート、団体追い抜き
- ・押切美沙紀(富士急、駒大苦小牧高、中札内中出)=1500m、3000m、団体追い抜き
- ・郷里砂(イヨテツ・山梨学院大、白樺学園高出)=500m、1000m
- ・辻麻希(開西病院・白樺学園高出)=500m、1000m

- ・高木菜那(日本電産サンキョー一帯南商高出)=1500m、マススタート、団体追い抜き
- ・郷里砂(イヨテツ・山梨学院大、白樺学園高出)=500m、1000m
- ・辻麻希(開西病院・白樺学園高出)=500m、1000m

男子の十勝勢は、昨年12月の全日本スプリント選手権でも同種目で6位と健闘しておらず、世界距離別選手権でも同種目で6位と健闘しておらず、「スプリンタードーム」となつた長谷川翼(日本電産サンキョー)=1000mと1500mで初の表彰台となる2位に入つておらず、地元十勝での表彰台を狙う。中・長距離ではワシリヤムソン師円(日本電産サンキヨー)=500m、1000mで初の表彰台となる2位に入つており、地元十勝での表彰台を狙う。

男子短距離陣で上位入りが期待される長谷川翼(右)と村上右磨(昨年12月の全日本スプリント選手権で)は、五輪3大種目にエントリーしてメダルの量産に挑む。

会場には、五輪3大種目にエントリーしてメダルの量産に挑む。糸川敏彦氏(白樺学園高出)が加わっている。

# 高木姉妹ら十勝7選手

## スピードスケート



### 競技の日程

\*開始時間は目安、かっこ内は十勝勢の出場予定選手

#### 【2月20日】

- 午後1時 男子500m  
(長谷川翼、村上右磨)
- 同1時45分 女子1000m  
(郷里砂、辻麻希、高木美帆)
- 同2時40分 男子5000m
- 同4時50分 女子3000m  
(高木美帆、押切美沙紀)

#### 【同21日】

- 午後1時 女子1500m  
(高木美帆、押切美沙紀、高木菜那)
- 同2時 男子1000m  
(郷里砂、辻麻希)
- 同2時50分 女子500m  
(郷里砂、辻麻希)
- 同3時45分 女子団体追い抜き  
(高木美帆、押切美沙紀、高木菜那)

#### 【同22日】

- 午後1時 男子1万m  
(村上右磨)
- 同4時 女子5000m  
(高木美帆)
- 同5時40分 男子団体追い抜き

#### 【同23日】

- 午後1時 男子1500m  
(高木美帆)
- 同2時 女子マススタート  
(高木美帆、高木菜那)
- 同2時45分 男子同

ウインターリースポーツのアジアの祭典「2017冬季アジア札幌大会」(競技会場はスピードスケートが帯広、その他は札幌市)の競技が18日に始まった。19日には開会式を行い、競技は26日まで実施する。32カ国・地域約2000人の選手・役員が参加して、スキーやスケート、バイアスロン、アイスホッケー、カーリングの5競技11種別81種目の熱戦が展開される。来年の平昌五輪に向けて、アジアのライバルと対戦する絶好の機会となり、スピードスケートとアイスホッケーの十勝勢計13選手ら日本本のメダル獲得ラッシュに期待がかかる。スピードスケート競技(20日)23日午後1時から、明治北海道十勝オーバルの観戦は無料となる。(横田光俊)

日本代表は金メダル9つを含む「メダル合計23個の獲得」(日本スケート連盟)を目指している。まず十勝勢で注目されるのは、今季好調の高木美帆(日体大・一帯南商高出)。競技初日(20日)の女子1000m(同3000m)、2日目(21日)の同1500m(同1500m)と団体追い抜き、さら

に最終日(23日)のマススタートの5種目に出場予定。高木は今季ワールドカップ(W杯)第3戦(昨年12月・カザフスタン)の女子

子1000m、1500mで初優勝。今月の世界距離別選手権(韓国)でも1500mで自身初の表彰台となる3位と好調を維持して

おり、今大会での複数のメダルに期待が掛かる。姉の菜那(日本電産サンキヨー・一帯南商高出)も世界距離別選手権のマススタートのほか、1500mなどと団体追い抜きに出場予定。

女子短距離では今季世界のトップに君臨する日本のエース小平奈緒(相澤病院小牧高、中札内中出)の3人が優勝しており、今大会でも金メダルの有力候補だ。女子短距離では今季世界のトップに君臨する日本のエース小平奈緒(相澤病院小牧高、中札内中出)の3人が優勝しており、今大会でも金メダルの有力候補だ。

アーティストスケート李相花(第3戦で高木美、高木菜、押切美沙紀(富士急・駒大苦小牧高、中札内中出)が登場する。今季W杯は500mで6勝、世界距離別と冬季会制覇のライバル李相花(アイ・サンファ、韓国)との真っ向勝負が十勝で見られる。十勝勢の郷里砂(イヨテツ・山梨学院大、白樺学園高出)も女子500mと1000mの2種目でメダルに挑む。